

1925年ごろ 乗合自動車の先駆け

【池上乗合】 東急電鉄のルーツの一つ目黒蒲田電鉄に合併された池上電気鉄道が運営していた池上乗合は、池上線沿線の鉄道補完を目的にバス路線の拡大を進めた。写真は当時事実上唯一の国産自動車といえる石川島製。(ウズレー CG 1929年式)



1947年ごろ 戦後復興と大量輸送

【トレーラーバス】 敗戦直後の大量輸送を担ったトレーラーバスは、運転席部分のトラクター17台と客席部分のトレーラー15台が在籍し、東京駅乗り入れ路線で活躍した。その後、交通量の増加で機動力が発揮しづらくなり、1956年までに引退した。(日野 1948年式)



1969年 玉川線代行バスの運行開始

【玉川線代行バス】 1969年5月10日限りで廃止された玉川線・砧線の代行バスが翌日から運行開始、新車を主体に116台が投入された。翌年には渋谷の玉川線軌道跡がバス専用路に改修され、転回用ターンテーブルが設置されて代行バスも乗り入れた。(三菱ふそう B800M)



1975年 東急コーチの運行開始

【東急コーチ】 1975年12月に自由が丘一駒沢間で運行開始した「東急コーチ」は、お客様からの呼び出しで迂回運行するデマンドバスシステムを導入した。東急コーチはその後路線が増えたが、現在はいずれも一般路線化している。(2代目車両の三菱ふそう P-MK516F 1985年式)



1953年 戦後の観光バス事業の開始

【戦後の観光バス】 戦争により途絶えていた貸切(観光)バス事業は1953年7月に再開し、同年下期には20台まで増えた。当時はボンネット車の比率が高く、また車体の基本構造は路線バスと共通であった。外装色は1966年までのアイボリー／青灰色。(日野 BH11 1954年式)



1954年 長距離路線バス 江ノ島線開業

【江ノ島線】 長距離路線の先駆けとなった渋谷－江ノ島線は、東急が構想した自動車専用道(一部区間はのちの第三京浜)の使用を前提に1954年に開設され、行楽の足として人気を得た。同路線で活躍した、東急バスの乗合車では初の冷房車。(三菱ふそう AR470 1959年式)



1986年 目黒通り新交通システムの導入

【新交通システム専用車】 等間隔運行の維持などによる利便性向上を目的に1986年3月、目黒通りの路線に導入された、コンピュータ管理による「東急バス新交通システム」専用車。冷暖房付のエアサス車で快適な乗り心地も特徴だった。(三菱ふそう P-MP618K 1986年式)



1988年 都市間高速バスの運行開始

【ミルクウェイ】 1988年10月、渋谷－和歌山間で運行開始した夜行都市間高速バス「ミルクウェイ」は、その後出雲線・酒田線・姫路線へと拡大した。独立シートなど上質な車内設備も好評を得たが、1998年までに順次休止した。写真は酒田線。(三菱ふそう P-MS725SA改=右)



1961年 長距離路線バス 長野線開業

【長野線】 1961年7月1日に運行開始した渋谷－長野線(231.71 km)は、首都圏～リゾート地を結ぶ本格的長距離路線バスで、当初は高崎と軽井沢に停車し所要7時間。1日2回、冷暖房完備のハイグレード車で運行された。写真は初日の渋谷駅。(いすゞ BC161P 1961年式)



1961年 ワンマン化の開始

【ワンマンバス】 ワンマンバス導入は車掌不足に応じて1961年4月、馬込循環線から始まった。これは東京23区内では初のワンマンバスであった。ワンマン化は1963年度から本格化し、約10年間で車両の大型化と併せて全路線100%を達成した。(いすゞ BU10 1964年式)



1989年 深夜急行バスの運行開始

【ミッドナイトアロー】 深夜帰宅者の利便性向上に向け、1989年7月、全国初の深夜急行バスとして渋谷－青葉台間で運行開始した「ミッドナイトアロー」は1990年代に順次路線を拡大したが、2022年に廃止となった。写真は貸切から用途変更された初期の専用車。(三菱ふそう K-MS615SA)



1997年 ノンステップバスの導入

【大型ノンステップバス】 あらゆるお客様の乗降を容易にするノンステップバスは1997年7月、目黒通りの路線に14台が初採用され、現在は全保有車の9割方を占める。現行車では車椅子用スロープ板の出し入れも迅速化している。(三菱ふそう KC-MP747K 2000年式)



1967年 通勤高速バスの登場

【通勤高速バス】 1967年12月、首都高速道路経由の渋谷線(桜新町－東京駅)が運行開始、翌年6月に目黒線(等々力－同)も開設。1987年までに終了し、2011年11月に「TOKYU E-Liner」(虹が丘営業所－渋谷駅)として再開、2022年に廃止となった。(日産ディーゼル 4R110 1969年式)



1969年 東名急行バスの運行開始

【東名急行バス】 東名高速道路全通を機に、東急電鉄と東名高速沿道に路線を持つ11の鉄道・バス事業者により設立された東名急行バスは、1969年6月から1975年3月まで運行され、渋谷－名古屋間を最速5時間5分で結んだ。(三菱ふそう B906R 1969年式)



1998年 トランセ代官山線の開業

【東急トランセ代官山循環線】 1998年7月28日、女性サービス・プロバイダーの乗務により運行開始した東急トランセ代官山循環線の初代小型バス。車椅子用リフトと補助ステップを備え、マルーン／グレーの外装も注目を集めた。(三菱ふそう KC-BE623E 1998年式)



2020年 燃料電池バスの導入

【水素燃料電池バス】 環境対策の旗手として2020年に初採用された水素燃料電池バス。燃料の水素を車載のFCスタックで改質し、発生した電気でモーター駆動する仕組みで、非常時には外部給電できる。現在2台が稼働する。(トヨタ ZBC-MUM1NAE 2020年式)

